

トレポネーマ・パリダム抗体(TP)

商品番号: TP

前書き

IFAおよび免疫組織化学による信頼性の高い梅毒検出のための抗トレポネーマ・パリダム抗体（TP）をご覧ください。優れた性能を持つ高純度ポリクローナル抗体です。今すぐ問い合わせる

詳細を学ぶ

特徴	商品説明
製品名	トレポネーマ・パリダム抗体
宿主種	ウサギ
アプリケーション	IFA、免疫組織化学
形態/外観	抗血清から精製
濃度	5 mg/ml
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
純度	≥95%
緩衝液	0.01Mリン酸緩衝生理食塩水、pH7.2、0.1%アジ化ナトリウム含有
交差反応性	抗血清は吸収されていないため、関連微生物と反応する可能性がある。
特異性	全ての抗原
有効期限	製造日より6年間
条件	内容
保存方法（短期）	2-8°C (6ヶ月未満)
保管（長期）	-20°C
配送	コールドバック
指標	合格基準
外観	液体成分が透明であること。キットの構成要素が完全で無傷であること。液体が漏れていないこと。包装ラベルが透明で破損していないこと。
容量	各成分は表示値以下であってはならない。
陽性基準適合率	トレポネーマ・パリダム抗体（TP）国家標準物質又は国家標準物質で標準化された企業陽性標準物質で検査した場合、陰性となることはない。
陰性基準適合率	TP国家標準物質または国家標準物質によって標準化された企業陰性標準物質で検査した場合、陽性結果は生じないはずである。
最小検出限界	TP国家標準物質または国家標準物質によって標準化された企業感度標準物質で検査した場合、結果はL1、L2、L3が陽性、L4が陰性であることを満たさなければならない。
再現性	TP国家標準物質または国家標準物質によって標準化された企業標準物質を用いて試験し、測定を10回繰り返した場合、変動係数（CV）は10%以下でなければならない。
バッチ間差	TP国家標準物質または国家標準物質によって標準化された企業標準物質を用いて試験し、測定を10回繰り返した場合、変動係数（CV）は15%以下でなければならない。
校正器の精度	校正器の相対偏差は10%以下でなければならない。

特徴	商品説明
条件	内容
指標	合格基準
校正器の均一性	キャリブレーターの均一性は10%以下でなければならない。

安定性

キットを遮光し、未開封の状態で2~8℃に保存し、有効期限後6カ月以内に製品を取り出し、2.1~2.5、2.7及び2.8に従って試験した場合、結果は関連項目の要求事項を満たすはずである。